

リファレンス・マニュアル
**NETGEAR ProSafe ワイヤレス・
アクセス・ポイント 802.11g
WG302**



NETGEAR

NETGEAR, Inc.
4500 Great America Parkway
Santa Clara, CA 95054 USA

2005 年 1 月

© 2005 NETGEAR, Inc. All rights reserved.

商標

NETGEAR、NETGEAR ロゴ、Gear Guy、Everybody's connecting は、米国およびその他の国における NETGEAR, Inc.の商標または登録商標です。

Microsoft、および Windows は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。

Atheros、Atheros Super G、Total 802.11 は、米国およびその他の国における Atheros Communication, Inc.の商標です。

その他のブランド名および製品名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

記載内容は、予告なしに変更することがあります。

ご注意

NETGEAR は、内部デザインの改良、操作性または信頼性の向上のため、本書に記載されている製品を予告なく変更する場合があります。

NETGEAR は、本書に記載されている製品・回路設計を使用または応用することにより発生した損害に関して、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置 (住宅地域、またはその隣接地域において使用されるべき情報装置) で、住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に適合しています。しかし、この装置をラジオやテレビ受信機に近づけて使用すると、受信障害の原因となることがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

テクニカル・サポート

NETGEAR 製品のインストール、設定、または仕様に関するご質問や問題については、お買い求めになった販売店へご相談ください。もしくは、下記の NETGEAR カスタマ・サポートまでご連絡ください。

本製品の無償保証期間は 3 年間です。保証は、 SEND BACK、ユニット交換での対応となります。

無償保証を受けるためにはユーザ登録が必要です。

ユーザ登録をするには、<http://www.netgearinc.co.jp/> にアクセスしてください。

NETGEAR カスタマ・サポート

電話: 0120-921-080

受付時間: 平日 9:00 - 20:00、土日祝 10:00 - 18:00 (年中無休)

E-mail: esupport@netgearinc.co.jp

目次

第1章

本書について

第2章

はじめに

NETGEAR ProSafe ワイヤレス・アクセス・ポイント 802.11g WG302 について	2-1
主な特長	2-1
AutoCell - 自動構成ワイヤレス・ネットワーク	2-3
802.11g 標準に基づいたワイヤレス・ネットワーキング	2-4
オートセンス Ethernet 接続	2-4
他の機器との互換性について	2-5
システム要件	2-5
パッケージ内容	2-6
ハードウェアについて	2-7

第3章

インストールと基本設定

設置場所、接続範囲のガイドライン	3-1
ケーブル配線の要件	3-2
デフォルト設定	3-2
WG302 ワイヤレス・セキュリティ・オプションを理解する	3-3
WG302 アクセス・ポイントのインストール	3-4
デフォルト設定の IP アドレスで WG302 へログインする	3-10
基本的なワイヤレス設定を理解する	3-11
WEP/WPA セキュリティ・オプションを理解する	3-13
RADIUS サーバ設定	3-16
SSID と暗号化設定を変更する前に	3-17
ワイヤレス接続の設定とテスト	3-18
MAC アドレスによるワイヤレス・アクセスの制限	3-19
WEP の設定	3-20
WPA の設定	3-22
WPA-PSK の設定	3-22
基本 IP 設定	3-23

第 4 章 管理

Telnet インタフェースを使用する	4-1
コンソール・ポートから CLI を使用する	4-1
CLI コマンド	4-2
SysLog およびアクティビティ・ログ情報	4-3
一般情報、および統計情報を参照する	4-4
統計情報	4-6
接続デバイス・リストの参照	4-7
ワイヤレス・アクセス・ポイント・ソフトウェアのアップグレード	4-7
設定ファイルの管理	4-8
設定のバックアップと復元	4-9
WG302 を工場出荷時のデフォルト設定に戻す	4-10
リセット・ボタンを使用して工場出荷時のデフォルト設定に戻す	4-10
管理者パスワードの変更	4-10

第 5 章

高度な設定

ワイヤレス・クライアントの IP 設定	5-1
高度なワイヤレス設定	5-2
AutoCell RF 管理	5-2
AutoCell の設定	5-2
AutoCell アクセス・ポイントとクライアントの相互作用	5-3
AutoCell View	5-4
ワイヤレス LAN パラメータの設定	5-5
ブリッジとリピータの設定	5-6
ポイント・ツー・ポイント・ブリッジの設定	5-7
マルチ・ポイント・ブリッジの設定	5-8
ワイヤレス・リピータの設定	5-9

第 6 章

トラブルシューティング

アクセス・ポイントの LED が点灯しない	6-1
ワイヤレス LAN LED が点灯しない	6-1
LAN LED が点灯しない	6-2
ワイヤレス・コンピュータからインターネットや LAN にアクセスできない	6-2
設定を行うために WG302 に接続できない	6-2
URL または IP アドレスを入力するとタイムアウト・エラーになる	6-3
工場出荷時のデフォルト設定に戻すために Reset(リセット)ボタンを使用する	6-3

第 1 章 本書について

このたびは、NETGEAR Prosafe ワイヤレス・アクセス・ポイント 802.11g WG302 をお買い上げいただきありがとうございます。

このリファレンス・マニュアルでは、WG302 アクセス・ポイントの詳細設定、あるいは高度な設定について説明します。

基本的なインストールと設定については、インストール・ガイドをご覧ください。

製品のアップデート、最新のドキュメンテーションは、NETGEAR の Web サイトをご覧ください。
www.netgearinc.co.jp

第 2 章 はじめに

この章では、NETGEAR Prosafe ワイヤレス・アクセス・ポイント 802.11g WG302 の特長を説明します。

NETGEAR ProSafe ワイヤレス・アクセス・ポイント 802.11g WG302 について

NETGEAR ProSafe ワイヤレス・アクセス・ポイント 802.11g WG302 は、ワイヤレス LAN インフラストラクチャを構成する基本コンポーネントです。WG302 を利用すれば、ワイヤレス LAN をサポートするノートブック PC、デスクトップ PC、プリント・サーバ、その他のワイヤレス・デバイスを、有線の Ethernet ネットワークに接続することができます。

NETGEAR ProSafe ワイヤレス・アクセス・ポイント 802.11g WG302 は、受信可能なエリア内にある複数のワイヤレス・デバイスのワイヤレス接続を可能にします。通常、建物内にあるアクセス・ポイントの接続可能な最大半径は約 90m です。WG302 はこの範囲内にある小規模なユーザ・グループのワイヤレス接続をサポートします。一般に、1 台のアクセス・ポイントは 30～70 ユーザを同時にサポートします。

NETGEAR ProSafe ワイヤレス・アクセス・ポイント 802.11g WG302 は、有線 LAN とワイヤレス・デバイスをつなぐブリッジとして機能します。有線 Ethernet バックボーンに複数の WG302 アクセス・ポイントに接続することにより、ワイヤレス・ネットワークの受信可能エリアをさらに広げることができます。モバイルのワイヤレス・デバイスがアクセス・ポイントの受信可能エリアから外れても、別のアクセス・ポイントの受信可能エリアへ入ることができます。これにより、ワイヤレス・デバイスはネットワークへのシームレスな接続を維持したまま、アクセス・ポイント間を自由にローミングできます。

主な特長

サポート標準

WG302 は以下の標準をサポートしています。

- **ワイヤレス標準**
IEEE 802.11g および 11b に対応しています。

- **WEP (Wired Equivalent Privacy)**
64 ビット、128 ビット、および 152 ビット WEP をサポートします。
- **DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) クライアント**
DHCP はコンピュータやその他のデバイスに動的 IP アドレスを割り当てます。WG302 は DHCP クライアントとして動作し、DHCP サーバからアドレス情報を取得します。
- **SNMP (Simple Network Management Protocol)**
SNMP MIB (Management Information Base) をサポートします。

特長

WG302 は以下のような特長を備えています。

- **AutoCell RF 管理**
AutoCell の自動化された RF 管理により、パフォーマンスが向上し、セキュリティが強化されます。
- **多彩な動作モード**
 - **ワイヤレス・アクセス・ポイント** – アクセス・ポイントは 802.11g および 11b 規格で動作します。
 - **ポイント・ツー・ポイント・ブリッジ** – このモードでは、ブリッジ・モードのワイヤレス・ステーションのみと通信します。入力フィールドにブリッジ・モード・ワイヤレス・ステーションの MAC アドレス (物理アドレス) を入力する必要があります。また WEP を使用して通信を保護します。
 - **ポイント・ツー・マルチポイント・ブリッジ** – WG302 がブリッジ・モード・ワイヤレス・ステーションのグループの“マスタ”である場合、このモードを選択します。ブリッジ・モード・ワイヤレス・ステーションは、ポイント・ツー・ポイント・ブリッジ・モードに設定し、WG302 の MAC アドレスを指定します。ワイヤレス・ステーション同士は直接通信を行わず、“マスタ”にすべてのトラフィックを送信します。WEP を使用して通信を保護します。
 - **ワイヤレス・リピータ** – このモードは半二重で、WG302 はリピータ・モード・ワイヤレス・ステーションのみと通信します。入力フィールドに近くにあるリピータ・モード・ワイヤレス・ステーションの MAC アドレスを入力します。WEP を使用して通信を保護します。
- **ファームウェア・アップグレード**
ファームウェアはフラッシュ・メモリに保存されており、Web ブラウザから簡単にアップグレードすることができます。またリモートからアップグレードも可能です。
- **アクセス制御**
MAC アドレス・フィルタリング機能によって、信頼できるワイヤレス・ステーションのみが WG302 を使

用して LAN にアクセスできます。

- **簡単設定**
デフォルト設定を簡単に変更できます。
- **ステルス・モード**
サービス・セット識別子 (SSID) はブロードキャストされないため、正しい SSID を設定したワイヤレス・ステーションのみが接続できます。
- **Telnet コマンド・ライン・インタフェース**
Telnet コマンド・ライン・インタフェースは、シリアル・ポートからアクセスが可能です。また、Ethernet インタフェース経由で、ネットワーク上の複数の WG302 に簡単に設定を書き込めます。この機能を使用するためには SSH (Secure Shell) クライアントが必要です。
- **設定のバックアップ**
設定はファイルにバックアップして保存できます。
- **安全で経済的な動作**
出力調整が可能であるため、安全で経済的な動作が可能です。
- **PoE (Power over Ethernet)**
NETGEAR FSM7326P Layer 3 Managed Switch などの 802.3af 準拠 POE スイッチから Ethernet ポートを通じて WG302 に電力を供給できます。
- **オートセンス Ethernet 接続**
10/100 Mbps IEEE 802.3 Ethernet ネットワークへの接続はオートセンスで、Auto Uplink に対応しています。
- **LED インジケータ**
電源、テスト、LAN 速度、LAN アクティビティ、およびワイヤレス・アクティビティを簡単に確認できます。

AutoCell — 自動構成ワイヤレス・ネットワーク

AutoCell™ は 802.11 WLAN に組み込まれている制御システムです。AutoCell によって帯域幅が有効利用でき、また WLAN をインストールし動作させるために必要なコストが大幅に削減されます。

AutoCell はすべて自動的に動作します。AutoCell はネットワークへの負荷の少ないプロトコルを使用し、ワイヤレス・ドメインの変更をモニタするため常時動作しています。

AutoCell には、以下のような特長があります。

- サイト調査やチャンネル・マップ作成作業を省略することが可能
- 動的なロード・バランシング
- プラグ&プレイで利用可能
- トランスペアレントなフォールト・リカバリとフェイルオーバー

AutoCell は完全な自動構成ネットワークであり、手動による介入は最小限に抑えられます。これによってデバイスの配置、管理、メンテナンスに関連する人件費を抑えることができ、802.11 WLAN をより実用的かつ効率的で、費用対効果の高いものにすることができます。

802.11g 標準に基づいたワイヤレス・ネットワーキング

NETGEAR ProSafe ワイヤレス・アクセス・ポイント 802.11g WG302 は、有線の Ethernet LAN と 802.11g ワイヤレス LAN のブリッジとして機能し、有線 Ethernet ネットワークとワイヤレス LAN をサポートするノートブック PC、デスクトップ PC、プリント・サーバ、その他のワイヤレス・デバイスを接続します。また、WG302 は以下のワイヤレス機能をサポートしています。

- 分散調整機能 (CSMA/CA、バックオフ・プロシージャ、ACK プロシージャ、未確認フレームの再送信)
- RTS/CTS ハンドシェイク
- ビーコン生成
- パケット分解／組立
- Short プリアンブルおよび Long プリアンブル
- 同一サブネット上にあるアクセス・ポイント間のローミング

オートセンス Ethernet 接続

WG302 アクセス・ポイントは標準の Ethernet ネットワークに接続することができます。LAN インタフェースはオートセンスで、全二重または半二重で動作します。

WG302 は Auto Uplink™ をサポートしています。ポートは接続された Ethernet ケーブルがストレート・ケーブルかクロスオーバー・ケーブルかを自動的に検知し、ポートを正しく構成します。Auto Uplink ではストレート・ケーブルでもクロスオーバー・ケーブルでも正しく接続することができ、どちらのケーブルを使うか悩む必要がありません。

他の機器との互換性について

WG302 アクセス・ポイントと互換性のある他社製品は、Wi-Fi アライアンスのホームページ (<http://www.wi-fi.org>) でご確認ください。

以下の NETGEAR 製品は、WG302 アクセス・ポイントで使用することができます。

- WG111 54 Mbps ワイヤレス USB2.0 アダプタ
- WG511 54 Mbps ワイヤレス PC カード
- WG511A 54 Mbps ワイヤレス PC カード
- WG111T 54G+ ワイヤレス USB2.0 アダプタ
- WG511T 54G+ ワイヤレス PC カード
- WAG511 54AG+ ワイヤレス PC カード
- MA111 802.11b ワイヤレス USB アダプタ
- MA521 802.11b ワイヤレス PC カード

システム要件

WG302 をインストールする前にシステム環境が以下の要件に合っていることを確認してください。

- 10/100 Mbps LAN デバイス(ハブ、スイッチなど)
- RJ-45 コネクタ付 カテゴリ 5 UTP Ethernet ケーブル(ストレート・ケーブル)
- 100 V, 50-60 Hz AC 電源
- Web ブラウザ (Microsoft Internet Explorer 6.0 またはこれ以降のバージョン、Netscape Navigator 4.78 またはこれ以降のバージョン)

- TCP/IP プロトコルを装備したコンピュータ
- 802.11g または 802.11b 標準に準拠したデバイス

パッケージ内容

パッケージには以下のものが含まれています。

- NETGEAR ProSafe ワイヤレス・アクセス・ポイント 802.11g WG302
- AC アダプタ
- カテゴリ 5 (CAT5) Ethernet ケーブル
- リソース CD
 - Reference Manual
- Installation Guide
- 製品保証規定

間違ったパーツや壊れたパーツが入っている場合、またパーツが足りない場合は、お買い上げいただいた販売店、または NETGEAR カスタマ・サポートまでご連絡ください。

製品のパッケージ(箱)は保管しておいてください。修理・交換のため返品する際は、このパッケージに入れて返送してください。

ハードウェアについて

ここでは WG302 の前部および後部パネルに装備された機能について説明します。



図 2-1: WG302 の前部パネル

以下の表は前部パネルの LED インジケータの説明です:

LED	説明
PWR	電源インジケータ
消灯	電力が供給されていません。
点灯	電力が供給されています。
TEST	セルフ・テスト・インジケータ
点滅	セルフ・テスト中、ソフトウェアのローディング中、またはシステム障害 メモ: この LED は、通常しばらくの間点滅を続け、その後消灯します。
100	Ethernet LAN の速度インジケータ
消灯	ポートは 10 Mbps でリンクしています。
点灯(緑)	ポートは 100 Mbps でリンクしています。
LINK/ACT LAN	Ethernet LAN のリンク/アクティビティ・インジケータ
消灯	Ethernet リンクが検出できません。
点灯(緑)	100 Mbps でリンクしていますが、データの送受信は行われていません。
点滅(緑)	100 Mbps でデータの送受信が行われています。
点灯(黄)	10 Mbps でリンクしていますが、データの送受信は行われていません。
点滅(黄)	10 Mbps でデータの送受信が行われています。

LED	説明
802.11g WLAN	ワイヤレス LAN のリンク／アクティビティ・インジケータ
消灯	ワイヤレス LAN は動作していません。
点滅(緑)	ワイヤレス LAN が動作しています。



図 2-2: WG302 の後部パネル

- **アンテナ**
WG302 には取り外し可能なアンテナが 2 基装備されています。
- **リセット(Reset)ボタン**
リセット・ボタンにより WG302 を工場出荷時のデフォルト設定に戻すことができます。
- **シリアル・コンソール・ポート**
コンソール接続のためのシリアル・ポート(DB-9、オス・コネクタ)
- **RJ-45 Ethernet ポート**
ハブ、スイッチ、ルータ、または POE スイッチなどの Ethernet 機器を接続します。
- **AC アダプタ・ソケット**
WG302 に付属する DC 12V、1.2A の AC アダプタを接続します。

第 3 章 インストールと基本設定


この章では NETGEAR ProSafe ワイヤレス・アクセス・ポイント 802.11g WG302 の設定方法を説明します。ここで説明する基本設定によって、802.11g または 802.11b ワイヤレス・アダプタを装備したコンピュータは、インターネットへアクセスしたり、LAN 上のプリンタやファイルにアクセスできるようになります。

アクセス・ポイントをインストールし設定する前に、以下のものを準備する必要があります：

- 次のセクション“設置場所、接続範囲のガイドライン”に沿った WG302 の設置場所
- WG302 アクセス・ポイントは、ハブ、スイッチ、ルータなどのデバイスによって LAN に接続できること
- 正しく設定された 802.11g または 802.11b ワイヤレス・アダプタを装備した 1 台以上のコンピュータ

設置場所、接続範囲のガイドライン

ワイヤレス接続の距離または範囲は、アクセス・ポイントの設置場所によって大きく異なります。

	メモ： これらのガイドラインに沿って設置しない場合は、パフォーマンスが低下したり、WG302 に接続できないことがあります。
---	---

最適な性能を得るために、アクセス・ポイントを以下のように設置してください。

- コンピュータを使用しているエリアの中央付近
- 棚の上などの高い場所で、ワイヤレス接続するコンピュータの設置場所から見えるところ
- 電子レンジ、コードレス電話など、干渉源となる可能性のある機器から離れた場所
- 大きな金属面から離れた場所
- 電波の届く範囲を水平方向に広げるにはアンテナを垂直にセットします。電波の届く範囲を縦方向に広げるにはアンテナを水平にセットします。
- 複数のアクセス・ポイントを設置する場合は、干渉を減らすために隣接するアクセス・ポイントで異なる無線周波数チャンネルを設定します。隣接するアクセス・ポイントのチャンネル間隔は 5 チャンネル分とってください。(例：1 チャンネルと 6 チャンネル、6 チャンネルと 11 チャンネル)

ワイヤレス接続の確立に必要な時間は、アクセス・ポイントのセキュリティ設定と設置場所により異なります。WEPを設定すると接続の確立までの時間がやや長くなります。また、WEP暗号化はノートブックPCのバッテリーをより多く消費します。

ケーブル配線の要件

WG302アクセス・ポイントをLANに接続するには、RJ-45コネクタ付のカテゴリ5 ツイストペア Ethernet ケーブルを使用します。

デフォルト設定

WG302 の工場出荷時のデフォルト設定は以下のとおりです。

項目	デフォルト設定
ユーザ名	admin
パスワード	password
動作モード	アクセス・ポイント
アクセス・ポイント名	netgearxxxxxx (xxxxxx はアクセス・ポイントの MAC アドレスの 下 6 桁)
DHCP クライアント	無効
DHCP サーバ	無効
IP 設定	IP アドレス: 192.168.0.228 サブネット・マスク: 255.255.255.0 ゲートウェイ: 0.0.0.0
ネットワーク名 (SSID)	NETGEAR
ネットワーク名 (SSID) のブロードキャスト	有効
802.11g 無線チャンネル	11
AutoCell RF 管理	有効
AutoCell 拡張 RF セキュリティ	無効
WEP/WPA	無効
MAC アクセス・コントロール・リスト	無効
スパニング・ツリー・プロトコル	有効
タイム・ゾーン	GMT
夏時間調整	無効
SNMP	有効 (トラップは無効)
Telnet	有効

WG302 ワイヤレス・セキュリティ・オプションを理解する

有線ネットワーク上のデータと違い、ワイヤレスのデータ伝送は壁の向こう側でも互換性のあるアダプタがあれば容易に受信することができます。このため、ワイヤレス機器ではセキュリティの設定が重要です。WG302 アクセス・ポイントは、非常に効果的なセキュリティ機能を提供します。



図 3-1: WG302 ワイヤレス・データのセキュリティ・オプション

ワイヤレス・ネットワークのセキュリティを強化するには、いくつかの方法があります。

- **MAC アドレスに基づくアクセス制限**

未知のコンピュータがワイヤレスで WG302 に接続できないようにするため、信頼できるコンピュータだけにアクセスを制限することができます。MAC アドレス・フィルタは、未知のコンピュータがネットワークへアクセスすることを阻止します。しかし、ワイヤレス・リンク上のデータは完全に公開されています。
- **ワイヤレス・ネットワーク名 (SSID) のブロードキャストを無効にする**

SSID のブロードキャストを止めることにより、正しい SSID を設定したデバイスだけが接続することができます。これは Windows XP などサポートされているワイヤレス・ネットワークを探す機能を無効にします。しかし、データは完全に公開されており、専用のテスト機器を使えばデータを読み取られる可能性があります。
- **WEP**

WEP (Wired Equivalent Privacy) データ暗号化は、データのセキュリティを提供します。WEP 共有キー認証と WEP データ暗号化は、データの盗聴から保護します。
- **WPA または WPA-PSK**

WPA (Wi-Fi Protected Access) データ暗号化は、非常に強力なセキュリティを提供します。暗号化キーは動的に変化し、解読はほとんど不可能になっています。

- **AutoCell 拡張 RF セキュリティ**

WEP や WPA のような標準の暗号化とセキュリティに加え、WG302 の AutoCell 機能によりプライバシー・レベルを向上させることができます。このモードでは、AutoCell は電波の到達距離をクライアントに届く最小限に縮小します。また、アクセス・ポイントがその存在を通知するために使うビーコンの到達距離も縮小します。このモードは、オフィス・ビルの外に電波が漏れることを最小限に抑えます。AutoCell 拡張 RF セキュリティを利用するには、NETGEAR WAG511 のような AutoCell をサポートする無線 PC カードを使用してください。

WG302 アクセス・ポイントのインストール

NETGEAR ProSafe ワイヤレス・アクセス・ポイント 802.11g WG302 をインストールする前に、Ethernet ネットワークが動作していることを確認してください。802.11g または 802.11b ワイヤレス・アダプタを備えたコンピュータが Ethernet ネットワーク上のコンピュータと通信できるように、アクセス・ポイントを Ethernet ネットワークに接続します。正しく動作するために、[2-5 ページ](#)に示したすべてのシステム要件を満足していることを確認してください。

1 WG302 アクセス・ポイントのセットアップ

ヒント: WG302 を高い位置に設置する前に、まず WG302 をセットアップしてテストを行い、ワイヤレス・ネットワーク接続を確認しておきます。

- a. Ethernet アダプタを備えたコンピュータを準備します。お使いのネットワークでこのコンピュータがすでに使用されている場合は、その TCP/IP 設定を記録します。
- b. コンピュータに静的 IP アドレス 192.168.0.210、サブネット・マスク 255.255.255.0 を設定します。
- c. WG302 の Ethernet ケーブルをコンピュータに接続します。
- d. コンピュータの電源を入れ、電源アダプタを WG302 に接続して、以下のことを確認します。
 - PWR LED が点灯する
 - 電源が入ったコンピュータに接続すると、アクセス・ポイントの LAN LED が点灯する

2 LAN とワイヤレス・アクセスの設定

- a. LAN にアクセスするために WG302 の Ethernet ポートを設定します。
 - ブラウザを開き、アドレス・ボックスに <http://192.168.0.228> と入力し、WG302 に接続します。次ページのようなログイン・ウィンドウが開きます。



図 3-2: ログイン・ウィンドウ

- 指示に従い、ユーザ名“**admin**”、パスワード“**password**”をどちらも小文字で入力します。

- Web ブラウザは、WG302 の設定ページを表示します。

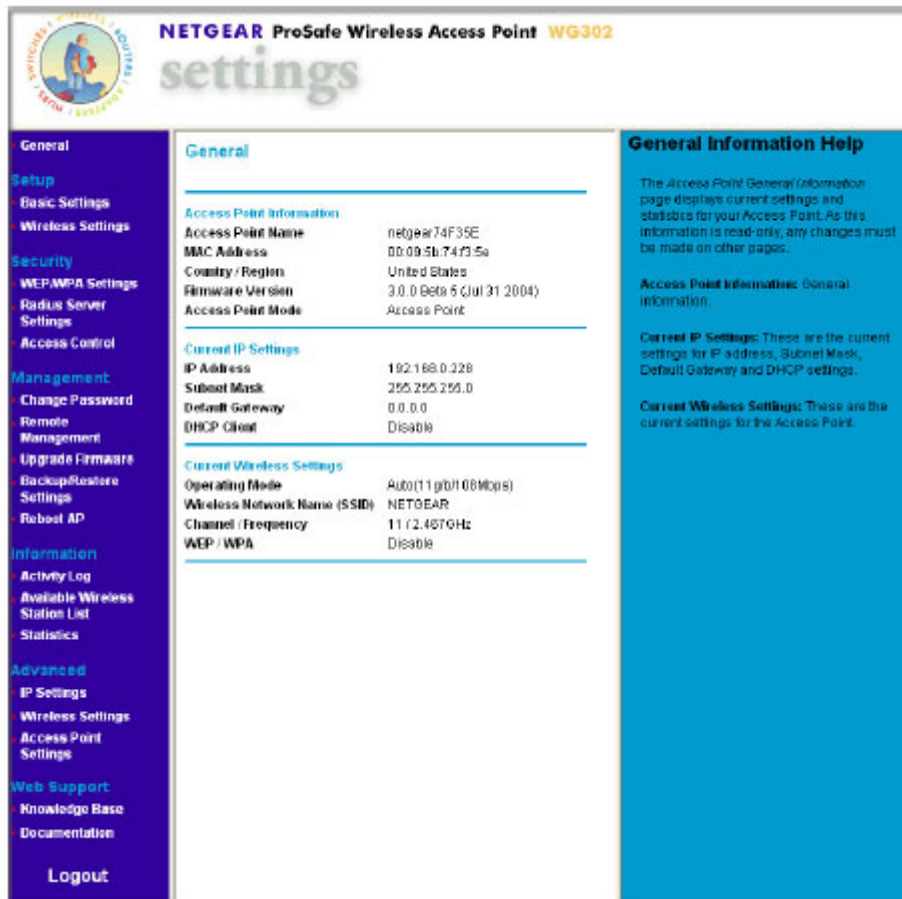


図 3-3: WG302 設定のトップページ

- アクセス・ポイントがインターネットに接続しているときは、Web Support の Knowledge Base リンクまたは Documentation をクリックすると、アクセス・ポイントのサポート情報またはマニュアルが表示されます。
- Logout (ログアウト) をクリックしないで、アクセス・ポイントが 5 分間操作されないときは、自動的にログアウトします。
- メイン・メニューの Setup - Basic Settings をクリックすると、Basic Settings (基本設定) ページが表示されます。

Basic Settings

Access Point Name: netgear74F35E

IP Address

DHCP Client: Enable Disable

IP Address: 192 . 168 . 0 . 228

IP Subnet Mask: 255 . 255 . 255 . 0

Default Gateway: 0 . 0 . 0 . 0

Primary DNS Server: 0 . 0 . 0 . 0

Secondary DNS Server: 0 . 0 . 0 . 0

Spanning Tree Protocol: Enable Disable

Time Zone: (GMT-08:00) Pacific Time (US & Canada): Tijuana

Adjust for Daylight Saving Time

Current Time: Fri Dec 31 21:58:09 1999

Apply Cancel

図 3-4: Basic Settings (基本設定) ページ

- お使いのネットワークに適した設定を行います。

- b. メイン・メニューの Setup - Wireless Settings をクリックすると、Wireless Settings (ワイヤレス設定) ページが表示されます。

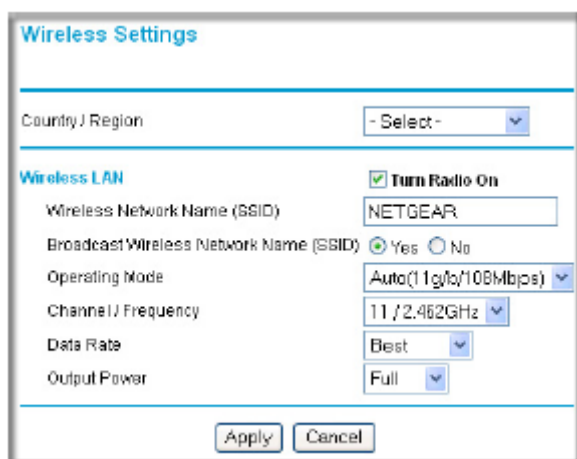
The image shows a screenshot of the 'Wireless Settings' configuration page. At the top, there is a 'Country / Region' dropdown menu set to '- Select -'. Below this is the 'Wireless LAN' section, which includes a 'Turn Radio On' checkbox that is checked. The 'Wireless Network Name (SSID)' is set to 'NETGEAR'. The 'Broadcast Wireless Network Name (SSID)' has radio buttons for 'Yes' (selected) and 'No'. The 'Operating Mode' is set to 'Auto(11g/108Mbps)'. The 'Channel / Frequency' is set to '11 / 2.462GHz'. The 'Data Rate' is set to 'Best' and the 'Output Power' is set to 'Full'. At the bottom of the page, there are 'Apply' and 'Cancel' buttons.

図 3-5: Wireless Settings (ワイヤレス設定) ページ

- c. ワイヤレス・アクセスのためのワイヤレス・インタフェースを設定します。詳細については、オンライン・ヘルプまたは [3-11 ページ](#) “基本的なワイヤレス設定を理解する” を参照してください。

メモ: Regulatory Domain (規制ドメイン) を設定してください。このフィールドで指定される国 / 地域以外でアクセス・ポイントを使用すると違法となる場合があります。

これでセットアップが終了しました。お使いのネットワークに WG302 を設置する準備が整いました。ここで使用したコンピュータは、必要に応じて元の TCP/IP 設定に戻してください。

3 WG302 アクセス・ポイントの配置

- a. WG302 アクセス・ポイントの電源を切り、実際に使用する場所に設置します。最適の場所は、ワイヤレス受信可能エリアの中央で、すべてのワイヤレス・デバイスが見渡せる場所の壁やパーティションなどの高い位置です。
- b. アンテナを垂直になるように立てます。

メモ: [第 5 章](#) “高度な設定” に記載されているアンテナの位置とワイヤレス・モードの設定情報を参照してください。

- c. WG302 アクセス・ポイントとルータ、スイッチ、ハブの LAN ポートを Ethernet ケーブルで接続します。

メモ: WG302 はデフォルト設定では DHCP クライアントが無効になっています。お使いのネットワークが動的 IP アドレスを使用している場合は、この設定を変更してください。

- d. 電源アダプタをアクセス・ポイントに接続し、電源アダプタをコンセントに差し込みます。PWR、LAN、ワイヤレス LAN の LED が点灯します。

4 ワイヤレス接続の確認

WG302 (SSID、WEP/WPA、MAC ACL など) に接続するために正しく設定された 802.11g または 802.11b ワイヤレス・アダプタを備えたコンピュータを使用し、Netscape または Internet Explorer などのブラウザでインターネットを閲覧して接続を確認するか、またはお使いのネットワークでファイルおよびプリンタへのアクセスをチェックしてください。

メモ: 接続できない場合は、[第 6 章“トラブルシューティング”](#)を参照してください。

デフォルト設定の IP アドレスで WG302 へログインする

- 1 アクセス・ポイントのデフォルト設定の IP アドレスは 192.168.0.228 です。WG302 はデフォルト設定では DHCP クライアントが無効になっています。

メモ: WG302 に接続するコンピュータは、IP アドレスを 192.168.0.x、サブネット・マスクを 255.255.255.0 に設定してください。

- 2 Web ブラウザ (Internet Explorer または Netscape Navigator) を開きます。
- 3 ブラウザにデフォルト設定のアドレス <http://192.168.0.228> を入力し、WG302 に接続します。
- 4 以下のようなログイン・ウィンドウが開きます。



図 3-6: ログイン・ウィンドウ

デフォルトのユーザ名“**admin**”とパスワード“**password**”を入力しログインします。

Web ブラウザでアクセス・ポイント名を入力すると、ブラウザは WG302 アクセス・ポイントを自動的に見つけ、3-6 ページにある“**WG302 設定のトップページ**”が表示されます。

基本的なワイヤレス設定を理解する

アクセス・ポイントのワイヤレス設定をするためには、メイン・メニューの **Setup**・**Wireless Settings** をクリックします。Wireless Settings (ワイヤレス設定) ページが表示されます。

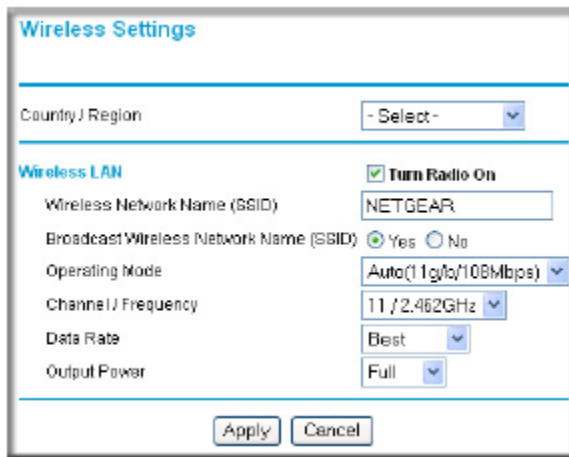


図 3-7: Wireless Settings (ワイヤレス設定) ページ

Wireless Settings ページのオプションは以下のとおりです。

- **Country/Region (国／地域)**
WG302 を使用する国／地域を指定します。ここで選択できない国／地域でアクセス・ポイントのワイヤレス機能を使用すると違法になる場合があります。デフォルトのチャンネル設定は 11 で、Country/Region を選択しないとチャンネルを変更できません。
- **Turn Radio On (無線をオンにする)**
デフォルト設定はオンですが、無線をオフにすると WG302 へのワイヤレス・アクセスを無効にすることができます。
- **Wireless Network Name (SSID) (ワイヤレス・ネットワーク名 (SSID))**
SSID (サービス・セット識別子) はワイヤレス・ネットワーク名とも呼ばれます。32 文字までの英数字を入力します。複数のワイヤレス・ネットワークを設定する場合、異なるワイヤレス・ネットワーク名を使用してトラフィックを分割します。ワイヤレス・ネットワークに参加するデバイスには、ワイヤレス・ネットワークと同じ SSID を設定してください。WG302 のデフォルト SSID は **NETGEAR** です。

- 同じ ID (SSID) を使用する複数のワイヤレス・ステーションと一台のアクセス・ポイントのグループは、Basic Service Set (BSS) を構成します。
 - SSID が異なるデバイスは互いに通信できません。ただし、SSID が“any”またはブランク (null) であるワイヤレス・ステーションから接続できるアクセス・ポイントもあります。
 - 同じ ID (ESSID) を使用する複数のワイヤレス・ステーションと複数のアクセス・ポイントのグループは、Extended Service Set (ESS) を構成します。
 - 1 つの ESS 内にある異なるアクセス・ポイントは異なるチャンネルを使用できます。干渉を減らすために、隣接したアクセス・ポイントでは異なるチャンネルを使用することをお勧めします。
 - ワイヤレス・ステーションは、ESS がカバーするエリア内を物理的に移動すると、干渉が最も少ないまたはパフォーマンスが最も優れたアクセス・ポイントに自動的に変更します。この機能をローミングといいます。
- **Broadcast Wireless Network Name (SSID) (ワイヤレス・ネットワーク名 (SSID) のブロードキャスト)**
SSID ブロードキャストをオフにできます。SSID ブロードキャストをオフにすると、SSID が分かっているステーションのみが接続できます。SSID ブロードキャストを無効にすると、製品によってはワイヤレス・ネットワークのディスカバリ機能がうまく機能しない場合があります。デフォルト設定では SSID ブロードキャストは有効になっています。



メモ: メイン・メニューの **Advanced - Wireless Settings** (高度なワイヤレス設定) ページで **AutoCell Enhanced RF Security** オプションを選択すると、ワイヤレス・ネットワーク名 (SSID) のブロードキャストは自動的にオフになります。

- **Operating Mode (動作モード)**
ワイヤレス動作モードを選択します。以下のオプションがあります。
 - Auto (11g/11b) – 802.11g および 802.11b ワイヤレス・ステーションを使用できます。
 - 802.11g only – 802.11g ワイヤレス・ステーションのみが使用できます。
 - 802.11b only – 802.11b ワイヤレス・ステーションのみが使用できます。802.11b モードで動作する 802.11g ワイヤレス・ステーションも使用できます。
- **Channel (チャンネル)**
使用する周波数を指定します。干渉の問題がある場合や別のアクセス・ポイントの近くに WG302 を設定する場合を除き、ワイヤレス・チャンネルを変更する必要はありません。



メモ: AutoCell Auto RF Management オプションが有効になっていると、AutoCell がチャンネル選択を自動的に行います。デフォルト設定では、AutoCell Auto RF Management オプションは有効になっています。

- アクセス・ポイントは固定チャンネルを使用します。使用するチャンネルを選択できます。干渉が最も少なく、パフォーマンスが最も優れたチャンネルを選択できます。
 - 複数のアクセス・ポイントを使用する場合は、干渉を減らすために隣接するアクセス・ポイントで異なるチャンネルを使用することをお勧めします。隣接するアクセス・ポイント間では5チャンネル分の間隔を取ることをお勧めします(例: 1チャンネルと6チャンネル、6チャンネルと11チャンネル)
 - “インフラストラクチャ”モードでは、通常ワイヤレス・ステーションはすべてのチャンネルをスキャンしアクセス・ポイントを探します。複数のアクセス・ポイントが使用できる場合は、信号強度が最大であるアクセス・ポイントに接続します。(複数のアクセス・ポイントで同じ SSID を使用している場合のみ)
- **Data Rate (伝送速度)**
ワイヤレス・ネットワークで使用できる伝送速度を示します。デフォルト設定は Best です。
 - **Output Power (送信出力)**
アクセス・ポイントの信号強度を設定します。オプションには、Full (最大)、50%、25%、12.5%、Min (最小) があります。同じチャンネル周波数を使用するアクセス・ポイントが近くにある場合は出力を下げてください。デフォルト設定は Full です。



メモ: AutoCell Auto RF Management オプションが有効になっていると、AutoCell が出力を自動的に調整します。デフォルト設定では、AutoCell Auto RF Management オプションは有効になっています。

WEP/WPA セキュリティ・オプションを理解する

ここでは WEP/WPA セキュリティ・オプションを説明します。

図 3-8: WEP/WPA Settings (WEP/WPA 設定) ページ

以下の表はワイヤレス・セキュリティ・オプションの説明です。

表 3-1: ワイヤレス・セキュリティ・オプション

フィールド	説明
Network Authentication (ネットワーク認証)	<p>ネットワーク認証オプションを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Open System (オープン・システム): WG302 は認証を行いません。 • Shared (共有キー): 共有キー認証を行います。SSID とデータが暗号化されます。 • WPA Pre-Shared Key (WPA-PSK): プレシェアード・キーを使用して認証を行い、最初のデータ暗号化キーを生成します。暗号化キーは動的に変化します。 • WPA with Radius: RADIUS サーバでユーザ認証を行います。 • 802.1X: RADIUS サーバでユーザ認証を行います。
Data Encryption (データ暗号化)	<p>データ暗号化オプションを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Disabled (無効) • 64、128、152 bit WEP <p>オープン・システム認証で 64/128/152-bit WEP データ暗号化の場合、WG302 はデータを暗号化しますが認証は行いません。</p>

フィールド	説明
WEP Key (WEP 暗号化キー)	<p>WEP を有効にした場合、4 つのデータ暗号キーを手動または自動でプログラムできます。このキーはネットワーク上のすべてのコンピュータおよびアクセス・ポイントで同じでなければなりません(キー1、キー2などがすべて同じ)</p> <p>WEP 暗号キーを作成するには 2 つの方法があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Passphrase (パスフレーズ) <ul style="list-style-type: none"> 大文字と小文字は区別されます。 Passphrase ボックスに印刷可能な単語または文字を入力して、Generate (生成) ボタンをクリックします。 メモ: すべてのワイヤレス・アダプタがパスフレーズ・キー生成をサポートしているわけではありません。 • 手動入力 <ul style="list-style-type: none"> 大文字と小文字は区別されません。 64-bit WEP: 10 桁の 16 進数 (0-9、a-f、A-F の組み合わせ) を入力してください。 128-bit WEP: 26 桁の 16 進数 (0-9、a-f、A-F の組み合わせ) を入力してください。 152-bit WEP: 32 桁の 16 進数 (0-9、a-f、A-F の組み合わせ) を入力してください。
Enable Wireless Security Separator (ワイヤレス・クライアントのセキュリティ・セパレータを有効にする)	<p>この機能が有効になっていると、ワイヤレス・クライアントは互いに通信することができません。デフォルト設定では無効になっています。</p>

RADIUS サーバ設定

メイン・メニューの Security – Radius Server Settings をクリックします。Radius Server Settings (RADIUS サーバ設定) ページが表示されます。

RADIUS サーバへのログイン情報を入力します。セカンダリ RADIUS サーバはオプションです。

- IP Address (IP アドレス)
RADIUS サーバの IP アドレスを入力してください。
- Port Number (ポート番号)
RADIUS サーバの接続に使用するポート番号を入力してください。
- Shared Secret (シェアード・シークレット)
RADIUS シェアード・シークレットを入力します。WG302 はこのキーで RADIUS サーバにログインするので、RADIUS サーバで使用するキーと一致している必要があります。

Radius Accounting (RADIUS アカウンティング) オプション

Radius Accounting オプションを有効にすると、ネットワークに接続したユーザ、接続した時刻、時間、生成したトラフィック量などの様々な情報を追跡できます。

SSID と暗号化設定を変更する前に

ワイヤレス設定を変更する前に、このページを印刷して以下の情報を記録してください。既存のワイヤレス・ネットワークで使用する場合は、ネットワーク管理者からこれらの情報を入手してください。

- **SSID:** SSID (サービス・セット識別子) は、ワイヤレス・ネットワークの識別名です。最大 32 文字の英数字を使用することができます。SSID を以下に記録してください。

SSID: _____

メモ: アクセス・ポイントの SSID は、ワイヤレス・アダプタ・カードの SSID と同じです。すべてのワイヤレス・ノードには、同じ SSID を設定しなければなりません。

- **認証**

Open System (オープン・システム)、または Shared Key (共有キー) のどちらかを で囲んでください: **Open System**、**Shared Key**

メモ: Shared Key を選択した場合、ネットワークの他のデバイスも Shared Key を選択する必要があります。

- **WEP 暗号化キー**

キーのサイズを選択してください: **64** または **128** ビット

Key 1: _____

Key 2: _____

Key 3: _____

Key 4: _____

- **WPA-PSK (Pre-Shared Key)**

WPA-PSK キーを記入してください:

Key: _____

- **WPA RADIUS 設定**

プライマリおよびセカンダリ RADIUS サーバの設定を記入してください:

サーバ名/IP アドレス: プライマリ _____ セカンダリ _____

ポート: _____

Shared Secret: _____

WG302 を設定するには、次のセクションを参照してください。この情報は安全な場所に保管しておいてください。

ワイヤレス接続の設定とテスト

以下の指示に従い、ワイヤレス接続のテストを実行してください。ここでワイヤレス接続が確立できれば、必要に応じて適切なセキュリティ設定を行ってください。

1. デフォルト設定のアドレス <http://192.168.0.228>、または現在設定されている IP アドレスを使用して WG302 にログインします。デフォルト設定のユーザ名は“**admin**”、パスワードは“**password**”です。
2. メイン・メニューの **Setup - Wireless Settings** をクリックします。
3. ワイヤレス・ネットワーク名 (SSID) に、32 文字までの英数字で SSID を入力します。SSID のデフォルト設定は **NETGEAR** です。
メモ: ワイヤレス・アダプタの SSID は、NETGEAR ProSafe ワイヤレス・アクセス・ポイント 802.11g WG302 で設定した SSID と一致しなければなりません。SSID が一致しなければ、WG302 にワイヤレス接続できません。
4. **Country/Region** (国 / 地域) を選択します。
5. チャンネルを選択します。干渉の問題がある場合や他のアクセス・ポイントが近くにある場合を除いて、ワイヤレス・チャンネルを変更する必要はありません。他のワイヤレス・ネットワークで使用していないチャンネルを選択します。
6. 初めてテストを行う場合は、アクセス・コントロール・リストは無効にし、データ暗号化はなし (**None**) でテストしてください。
7. **Apply** (適用) をクリックして、変更した内容を保存します。




メモ: ワイヤレス・コンピュータから WG302 にアクセスし、SSID、チャンネル、セキュリティ設定を変更した場合、**Apply** (適用) をクリックするとワイヤレス接続が切断されます。この場合、ワイヤレス・コンピュータのワイヤレス設定を変更する必要があります。

8. コンピュータの設定を変更し、ワイヤレス接続をテストします。
コンピュータのワイヤレス・アダプタに WG302 で設定した SSID およびチャンネルを設定します。また、WG302 から DHCP で IP アドレスを取得できることをチェックします。

MAC アドレスによるワイヤレス・アクセスの制限

MAC アドレスによってアクセスを制限するには、以下の手順に従ってください。

1. デフォルト設定のアドレス <http://192.168.0.228>、または現在設定されている IP アドレスを使用して WG302 にログインします。デフォルト設定のユーザ名は“**admin**”、パスワードは“**password**”です。

	<p>メモ: アクセス・コントロール・リストに MAC アドレスがないワイヤレス・コンピュータから WG302 にアクセスし、Turn Access Control On (アクセス・コントロールをオンにする) を選択した場合、Apply (適用) をクリックするとそのワイヤレス・コンピュータのワイヤレス接続が切断されます。さらに変更を行うには、有線で接続されているコンピュータ、またはアクセス・コントロール・リストにあるワイヤレス・コンピュータからアクセス・ポイントにアクセスする必要があります。</p>
---	---

2. メイン・メニューの Security - Access Control をクリックすると、Access Control List (アクセス・コントロール・リスト) ページが表示されます。

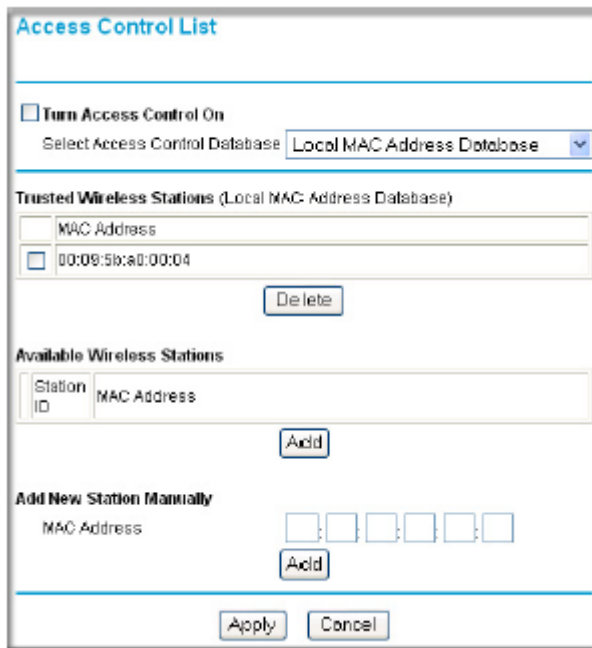


図 3-9: Access Control List (アクセス・コントロール・リスト) ページ

3. Turn Access Control On (アクセス・コントロールをオンにする) チェック・ボックスを選択します。
4. アクセス・ポイントに保存される Local MAC Address Database (ローカル MAC アドレス・データベース)、または RADIUS サーバに保存される RADIUS MAC Address Database (RADIUS MAC アドレス・データベース)を選択します。RADIUS MAC アドレス・データベースを選択した場合、RADIUS Server Settings (RADIUS サーバ設定)を先に設定する必要があります。
5. WG302 が発見した利用可能なワイヤレス・カードのリストから選択するか、または使用するデバイスの MAC アドレスとデバイス名を入力します。通常 MAC アドレスはワイヤレス・アダプタに記載されています。
6. Add (追加)をクリックして、ワイヤレス・デバイスをアクセス・リストに追加します。リストに追加するすべてのデバイスについて、この手順を繰り返します。
7. **Apply** (適用)をクリックしてアクセス・コントロール・リストの設定を保存します。

これで、このリストにあるデバイスのみが WG302 にワイヤレスでアクセスできるようになります。

WEP の設定

WEP データ暗号化を設定するには、以下の手順に従ってください。

1. デフォルト設定のアドレス <http://192.168.0.228>、または現在設定されている IP アドレスを使用して WG302 にログインします。デフォルト設定のユーザ名は“**admin**”、パスワードは“**password**”です。
2. メイン・メニューの Security – WEP/WPA Settings (WEP/WPA 設定)をクリックします。

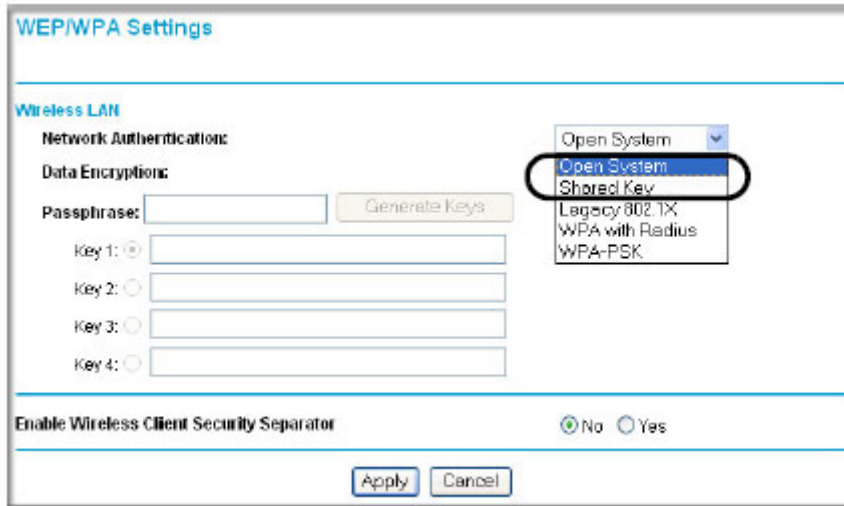


図 3-10: WEP/WPA Settings (WEP/WPA 設定) ページ

3. Open System (オープン・システム) または Shared Key (シェアード・キー) を選択します。
4. 暗号化強度を選択します。
5. 4 つのデータ暗号化キーを手動または自動でプログラムできます。このキーはネットワーク上のすべてのコンピュータおよびアクセス・ポイントで同じでなければなりません。
 - 自動 - Passphrase (パスフレーズ) ボックスに印字可能な単語または文字列を入力して、Generate (生成) ボタンをクリックします。キー・ボックスに自動的にキーの値が取り込まれます。
 - 手動 - 10、26、または 32 桁の 16 進数 (0-9、a-f、A-F の組み合わせ) を入力します。デフォルト・キーを選択します。
6. **Apply** (適用) をクリックして設定を保存します。



メモ: ワイヤレス・コンピュータで WEP を設定する場合、Apply (適用) をクリックすると接続が切断されます。続けて変更を行うには、ワイヤレス・アダプタを新しい設定に再設定するか、または有線接続のコンピュータからアクセス・ポイントへアクセスしてください。

WPA の設定

WPA を設定するには、以下の手順に従ってください。

1. デフォルト設定のアドレス <http://192.168.0.228>、または現在設定されている IP アドレスを使用して WG302 にログインします。デフォルト設定のユーザ名は“**admin**”、パスワードは“**password**”です。
2. メイン・メニューの Security — **Radius Server Settings** (RADIUS サーバ設定) をクリックします。
3. Radius 設定を入力します。
4. **Apply** (適用) をクリックして設定を保存します。
5. メイン・メニューの Security — **WEP/WPA Settings** (WEP/WPA 設定) をクリックします。
6. Network Authentication (ネットワーク認証) で **WPA with Radius** を選択します。
7. **Apply** (適用) をクリックして設定を保存します。

WPA-PSK の設定

WPA-PSK を設定するには、以下の手順に従ってください。

1. デフォルト設定のアドレス <http://192.168.0.228>、または現在設定されている IP アドレスを使用して WG302 にログインします。デフォルト設定のユーザ名は“**admin**”、パスワードは“**password**”です。

2. メイン・メニューの Security – **WEP/WPA Settings** (WEP/WPA 設定) をクリックします。

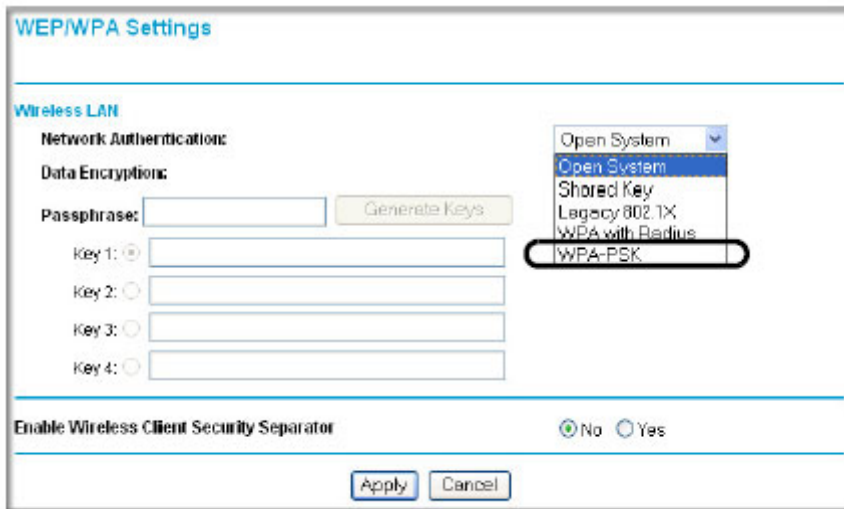


図 3-11: WEP/WPA Settings (WEP/WPA 設定) ページ

3. Network Authentication (ネットワーク認証) で WPA-PSK を選択します。
4. Pre-Shared Key (プレシェアード・キー) の Passphrase (パスフレーズ) を入力します。
5. Apply (適用) をクリックして設定を保存します。

基本 IP 設定

Basic Settings (基本設定) ページで、DHCP、静的 IP、アクセス・ポイント名などを設定することができます。

Basic Settings

Access Point Name: netgear74F35E

IP Address

DHCP Client: Enable Disable

IP Address: 192 . 168 . 0 . 228

IP Subnet Mask: 255 . 255 . 255 . 0

Default Gateway: 0 . 0 . 0 . 0

Primary DNS Server: 0 . 0 . 0 . 0

Secondary DNS Server: 0 . 0 . 0 . 0

Spanning Tree Protocol: Enable Disable

Time Zone: (GMT-08:00) Pacific Time (US & Canada): Tijuana

Adjust for Daylight Saving Time

Current Time: Fri Dec 31 21:58:09 1999

Apply Cancel

図 3-12: Basic Settings (基本設定) ページ

- **Access Point Name (NetBIOS) (アクセス・ポイント名)**
アクセス・ポイントの名前を変更することができます。
- **IP Address (IP アドレス)**
工場出荷時の設定は、DHCP クライアントが無効で、以下の静的アドレスが設定されています。
 - IP Address – 192.168.0.228
 - IP Subnet Mask – 255.255.255.0
 - Default Gateway – 0.0.0.0
 - Primary および Secondary DNS Server – 0.0.0.0必要に応じてこれらのアドレスを変更してください。
- **Spanning Tree Protocol (スパニング・ツリー・プロトコル)**
Spanning Tree Protocol (スパニング・ツリー・プロトコル) はデフォルトで有効になっています。これにより、複数の WG302 アクセス・ポイントを使用する場合、ネットワーク・トラフィックが最適化されます。
- **Time Zone (タイム・ゾーン)**
アクセス・ポイントを使用する国／地域のタイム・ゾーンを選択します。

第 4 章 管理

この章では NETGEAR ProSafe ワイヤレス・アクセス・ポイント 802.11g WG302 の管理機能を説明します。

Telnet インタフェースを使用する

WG302 は、Telnet コマンド・ライン・インタフェース (CLI) を備えています。CLI には Ethernet またはシリアル・コンソール・ポートに接続した Telnet クライアントから接続することができます。



メモ: 信頼できる Telnet クライアントを使用してください。また、クライアントでは SSH1、3DES オプションを使用してください。Ethernet 接続の Telnet クライアントを使用する場合は、WG302 の IP アドレスをホスト名として使用してください。

コンソール・ポートからの CLI を使用する

1. VT100/ANSI ターミナルまたはワークステーションを Null モデム・ケーブルでコンソール・ポートに接続します。

PC、Apple Macintosh、UNIX ワークステーションを接続する場合は、安全なターミナル・エミュレーション・プログラムを起動してください。

2. ターミナル・エミュレーション・プログラムを以下のように設定します。

- データ速度: 9,600 bps
- データ・ビット: 8
- パリティ: なし
- ストップ・ビット: 1
- フロー制御: なし

3. 以下のような画面が表示されます。

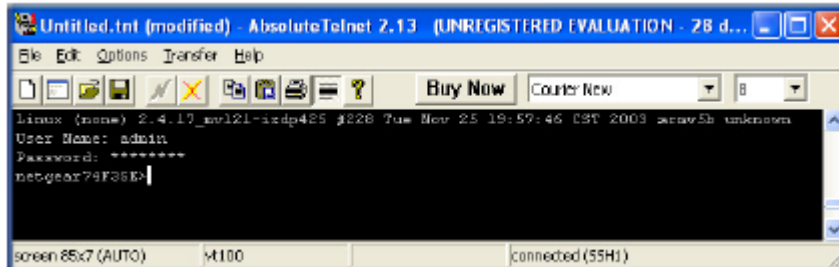


図 4-1: Telnet クライアント

ログイン名は“admin”、デフォルト設定のパスワードは“password”です。

ログインすると(アクセス・ポイント名) > (例: netgear74F35E >) プロンプトが表示されます。

help と入力すると CLI コマンド・ヘルプが表示されます。

CLI コマンド

CLI コマンドについては、Resource CD の Reference Manual (英語版) Appendix C “Command Line Reference” を参照してください。

SysLog およびアクティビティ・ログ情報

メイン・メニューの Information - Activity Log をクリックすると、Activity Log (アクティビティ・ログ) ページが表示されます。

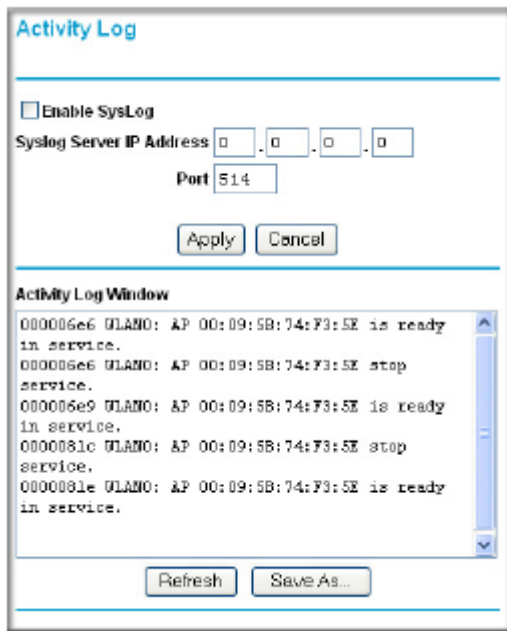


図 4-2: Activity Log (Syslog およびアクティビティ・ログ) ページ

LAN に SysLog サーバがある場合、SysLog オプション (Enable SysLog) を有効にし、SysLog サーバの IP アドレスと SysLog サーバに設定されているポート番号を入力してください。

- SysLog Server IP Address (SysLog サーバ IP アドレス) : SysLog オプションが有効になっている場合、アクセス・ポイントは指定された IP アドレスにすべての SysLog を送信します。デフォルト設定は 0.0.0.0 です。
- Port (ポート) : LAN 上の SysLog サーバで設定されているポート番号です。デフォルト設定は 514 です。

アクセス・ポイントの動作状況は、Activity Log (アクティビティ・ログ) ウィンドウに表示されます。

Refresh (更新) をクリックすると最新の情報が表示されます。ログをコンピュータのファイルに保存する場合は、Save As (保存) をクリックしてディスク・ドライブにファイルを保存します。

一般情報、および統計情報を参照する

メイン・メニューの General をクリックするとシステム・ステータスが表示されます。

General	
Access Point Information	
Access Point Name	netgear74F35E
MAC Address	00:09:5b:74:f3:5e
Country / Region	United States
Firmware Version	3.0.0 Beta 5 (Jul 31 2004)
Access Point Mode	Access Point
Current IP Settings	
IP Address	192.168.0.228
Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway	0.0.0.0
DHCP Client	Disable
Current Wireless Settings	
Operating Mode	Auto(11 g/b/g 09Mbps)
Wireless Network Name (SSID)	NETGEAR
Channel / Frequency	11 / 2.487GHz
WEP / WPA	Disable

図 4-3: General (一般情報) ページ

このページでは以下の情報が表示されます。

表 4-1: 一般情報

項目	説明
Access Point Information	
Access Point Name	アクセス・ポイントの名前 (NetBIOS 名)
MAC Address	アクセス・ポイントの Ethernet ポートの MAC (Media Access Control) アドレス

表 4-1: 一般情報

項目	説明
Country / Region	アクセス・ポイントを使用する国または地域
Firmware Version	ファームウェアのバージョン
Access Point Mode	WG302 の動作モード: <ul style="list-style-type: none"> • Access Point (アクセス・ポイント) • Point-to-Point bridge (ポイント・ツー・ポイント・ブリッジ) • Multi-point bridge (マルチ・ポイント・ブリッジ) • Repeater (リピータ)
Current IP Settings	
IP Address	IP アドレス
Subnet Mask	サブネット・マスク
Default Gateway	デフォルト・ゲートウェイ
DHCP Client	Enabled (有効) の場合、上記の IP アドレスは DHCP サーバから取得されたものです。Disabled (無効) の場合、静的 IP アドレスが設定されています。
Current Wireless Settings	
Operating Mode	ワイヤレスの動作モード
Wireless Network Name (SSID)	ワイヤレス・ネットワーク名 (SSID) が表示されます。デフォルト設定は NETGEAR です。
Channel / Frequency	アクセス・ポイントが使用しているチャンネルと周波数を表示します。デフォルト設定はチャンネル 11 です。
WEP / WPA	WEP / WPA 設定

統計情報

メイン・メニューの Information - Statistics をクリックすると、Statistics (統計) ページが表示されます。

Statistics		
Wired Ethernet		
	Received	Transmitted
Packets	0	0
Bytes	0	0
Wireless		
	Received	Transmitted
Unicast Packets	0	0
Broadcast Packets	0	0
Multicast Packets	0	0
Total Packets	0	0
Total Bytes	0	0
Refresh		

図 4-4: Statistics (統計情報) ページ

表 4-2: 統計情報

項目	説明
Wired Ethernet	有線 Ethernet の受信／送信統計
Packets	パケット数
Bytes	バイト数
Wireless	ワイヤレスの受信／送信統計
Unicast Packets	ユニキャスト・パケット数
Broadcast Packets	ブロードキャスト・パケット数
Multicast Packets	マルチキャスト・パケット数
Total Packets	合計パケット数
Total Bytes	合計バイト数
Refresh	Refresh (更新) ボタンをクリックすると統計情報が更新されます。

接続デバイス・リストの参照

メイン・メニューの Information — Available Wireless Station List をクリックすると Available Wireless Station List (使用可能なワイヤレス・ステーション・リスト) ページが表示されます。このリストには、アクセス・ポイントと同じワイヤレス・ネットワーク名 (SSID) のすべての IP デバイスが含まれています。

リストには、デバイスの Station ID (ステーション ID)、MAC address (MAC アドレス)、IP Address (IP アドレス) および Status (ステータス) (デバイスがアクセス・ポイントとの通信可能かどうか) が表示されます。

アクセス・ポイントを再起動するとアクセス・ポイントがデバイスを見つけるまでリストのデータは失われるので注意してください。リストを更新するには Refresh (更新) ボタンをクリックしてください。

メモ: 同じネットワーク名 (SSID) の複数のアクセス・ポイントが設置された環境では、このアクセス・ポイントに関連するステーションのみが表示されることに注意してください。

ワイヤレス・アクセス・ポイント・ソフトウェアのアップグレード



メモ: WG302 アクセス・ポイントへソフトウェアをアップロードしている間は、ウィンドウを閉じる、リンクをクリックする、新しいページをロードするなど、Web ブラウザに割り込みをかけないでください。Web ブラウザに割り込みが入ると、アップロードに失敗したり、ソフトウェアが壊れたり、WG302 が動作しなくなることがあります。

ワイヤレス接続のコンピュータからファームウェアをアップグレードすることはできません。ファームウェアのアップグレードは、WG302 に LAN 接続されたコンピュータから行ってください。

WG302 アクセス・ポイントのソフトウェアは FLASH メモリに保存されており、アップグレードすることができます。アップグレード・ファイルは NETGEAR の Web サイトからダウンロードできます。アップグレード・ファイルが圧縮されている (.zip) 場合は、アクセス・ポイントへ送信する前にイメージ・ファイル (.rmt) を解凍する必要があります。

メモ: WG302 に新しいファームウェアをアップロードするには、Web ブラウザが HTTP アップロードをサポートしていなければなりません。(Microsoft Internet Explorer 6.0 またはこれ以降のバージョン、Netscape Navigator 4.78 またはこれ以降のバージョン、など)

1. NETGEAR のサイトから新しいソフトウェア・ファイルをダウンロードし、ハード・ディスクに保存し解凍します。
2. メイン・メニューの **Management** — **Upgrade Firmware** をクリックすると、**Upgrade Firmware** (ファームウェア・アップグレード) ページが表示されます。
3. 参照ボタンをクリックして、アップグレード・ファイル (.rmt) の場所を探します。
4. **Upload** (アップロード) をクリックします。
アップロードが完了したら、アクセス・ポイントは自動的に再起動します。通常アップグレード・プロセスには約 1 分間かかります。

アップグレードを行った後で、アクセス・ポイントを再設定する必要がある場合があります。

設定ファイルの管理

WG302 アクセス・ポイントの設定は、アクセス・ポイント内の設定ファイルに保存されています。このファイルは、コンピュータに保存、コンピュータから復元、または工場出荷時の設定に戻すことができます。

メイン・メニューの **Management** — **Backup/Restore Settings** をクリックすると、**Backup/Restore Settings** (設定のバックアップと復元) ページが表示されます。

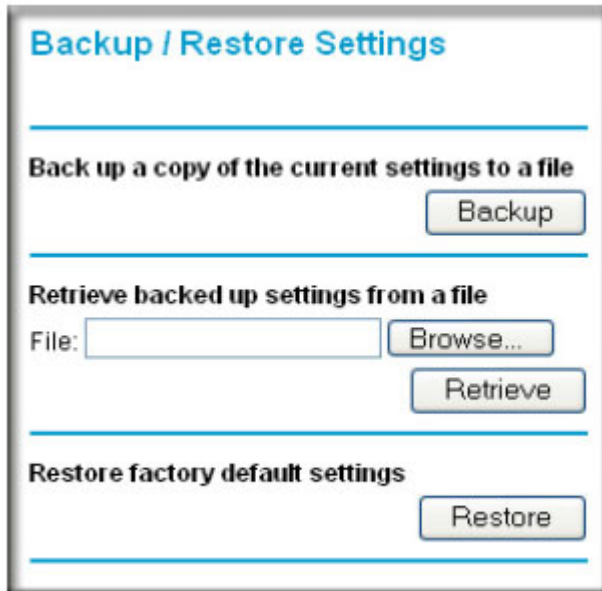


図 4-5: Backup/Restore Settings (設定のバックアップと復元) ページ

設定のバックアップと復元

Backup/Restore Settings (バックアップ/復元設定) メニューを使用すると、ご使用のアクセス・ポイントの設定を含むファイルを保存したり、取得したりできます。

設定を保存するには、Back up a copy of the current settings to a file の Backup (バックアップ) ボタンをクリックします。ブラウザがアクセス・ポイントから設定ファイルを抽出するので、コンピュータの保存先を指定してください。デフォルトのファイル名は“wg302.cfg”ですが、変更することもできます。

保存したファイルから設定を復元するには、Retrieve backed up settings from a file のフィールドに設定ファイルのパスを入力するか、または参照ボタンをクリックして設定ファイルを指定します。Retrieve (回復) ボタンをクリックしてファイルをアップロードします。アップロードが完了すると WG302 は自動的に再起動します。

WG302 を工場出荷時のデフォルト設定に戻す

アクセス・ポイントの設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻すには、Restore factory default settings の Restore (復元) ボタンをクリックします。設定を元に戻すと、アクセス・ポイントのパスワードは “password”、DHCP クライアントは有効、LAN IP アドレスはデフォルト設定の 192.168.0.228、アクセス・ポイント名はユニットの下にあるラベルに印刷されている名前に戻ります。

リセット・ボタンを使用して工場出荷時のデフォルト設定に戻す

ログイン・パスワードまたは IP アドレスがわからない場合、工場出荷時のデフォルト設定に戻すには、アクセス・ポイントの後部パネルにあるリセット (Reset) ボタンを使用してください (2-9 ページ “WG302 の後部パネル” を参照)。リセット・ボタンには以下の 2 つの機能があります。

- **リブート**
このボタンを押すと、アクセス・ポイントがリブート (再起動) します。
- **工場出荷時のデフォルト設定にリセット**
このボタンを押すと、すべてのデータをクリアして、すべての設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻せます。

すべてのデータをクリアし、工場出荷時のデフォルト設定に戻すには:

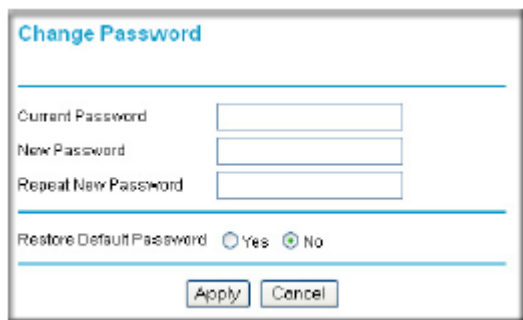
1. WG302 の電源をオフにします。
2. WG302 の電源をオンにするとき、リセット・ボタンを 5 秒間押し続けます。
3. LED が 2 回点滅するまでリセット・ボタンを押し続けます。
4. リセット・ボタンを離します。

これで WG302 は工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。

管理者パスワードの変更

デフォルト設定のパスワードは “password” です。このパスワードを安全なパスワードに変更することができます。ログイン名は変更できません。

メイン・メニューの Management - Change Password をクリックすると、Change Password (パスワード変更) ページが表示されます。



The screenshot shows a web form titled "Change Password". It contains three input fields: "Current Password", "New Password", and "Repeat New Password". Below these fields is a radio button group for "Restore Default Password" with "Yes" and "No" options, where "No" is selected. At the bottom are "Apply" and "Cancel" buttons.

図 4-6: Change Password (パスワード設定) ページ

パスワードを変更するには、古いパスワードを入力してから、新しいパスワードを 2 回入力します。Apply (適用) をクリックし変更を保存します。

第 5 章 高度な設定

この章では NETGEAR ProSafe ワイヤレス・アクセス・ポイント 802.11g WG302 の高度な設定について説明します。

- **IP Settings (IP 設定)**: アクセス・ポイントをワイヤレス・クライアントの DHCP サーバとして使用します。
- **Wireless Settings (ワイヤレス設定)**: AutoCellと高度なワイヤレス LAN パラメータを設定します。
- **Access Point Settings (アクセス・ポイント設定)**: ワイヤレス・ブリッジとリピータを設定します。

ワイヤレス・クライアントの IP 設定

アクセス・ポイントをワイヤレス・クライアントの DHCP サーバとして使用することができます。アクセス・ポイントは、静的 IP を持つクライアントと DHCP クライアントの両方に対応します。

Advanced IP Settings for Wireless Clients

Use AP as DHCP Server

Accept DHCP Enabled Wireless Clients Only

Accept Both DHCP Enabled and Static IP Configured Wireless Clients

Starting IP Address: [0] [0] [0] [0]

Ending IP Address: [0] [0] [0] [0]

Gateway IP Address: [0] [0] [0] [0]

Primary DNS Server: [0] [0] [0] [0]

Secondary DNS Server: [0] [0] [0] [0]

Primary WINS Server: [0] [0] [0] [0]

Secondary WINS Server: [0] [0] [0] [0]

Lease: [0] days [0] hours [15] minutes

Apply Cancel

図 5-1: Advanced IP Settings for Wireless Clients (ワイヤレス・クライアントの IP 設定) ページ

高度なワイヤレス設定

Advanced Wireless Settings (高度なワイヤレス設定) ページでは、以下の設定が可能です。

- AutoCell RF 管理
- 高度なワイヤレス・パラメータ

このオプションについて以下で説明します。

AutoCell RF 管理

AutoCell は高度な RF 管理機能を提供し、パフォーマンスを改善し、セキュリティを強化します。

表 5-1: AutoCell の機能

問題	AutoCell を設定すると
プライバシーの侵害	近隣やハッカーがネットワークを検出することを防ぎます。
ひとつのエリアに複数のアクセス・ポイントが設置され、パフォーマンスが低下	アクセス・ポイントとクライアントのロード・バランスを取ります。
設置が複雑	カスタマはアクセス・ポイントの設置場所と設置密度を自由に選択できます。
干渉の増加	クライアントとアクセス・ポイントは、近隣や予期しないソースからの干渉を避けられます。

AutoCell の自動構成マイクロ・セルによって、企業のプライバシー・レベルをさらに高めることができます。拡張 RF セキュリティを利用するためには、AutoCell クライアントを使用することをお勧めします。

AutoCell の設定



図 5-2: Advanced Wireless Settings (高度なワイヤレス設定) ページ - AutoCell Setup (AutoCell 設定) オプション

AutoCell では 2 つの設定を選択できます。

- Auto RF Management(自動 RF 管理): デフォルト設定は Enabled(有効)
- Enhanced RF Security(拡張 RF セキュリティ): デフォルト設定は Disabled(無効)

Auto RF Management(自動 RF 管理)

メモ: Auto RF Management(自動 RF 管理)オプションを有効にすると、AutoCell がチャンネルと送信出力を自動設定します。

このモードでは、AutoCell のアクセス・ポイントとクライアントのロード・バランスを取ります。このモードを使用すると、近隣のクライアント、アクセス・ポイント、予期しないソースからの干渉を避けることができます。

Enhanced RF Security(拡張 RF セキュリティ)

メモ: AutoCell Enhanced RF Security(拡張 RF セキュリティ)オプションを選択すると、Broadcast Wireless Network Name (SSID)(ワイヤレス・ネットワーク名のブロードキャスト)は自動的にオフになります。

このモードでは、AutoCell はできるだけ小さい通信エリアでクライアントと通信しようとするだけでなく、その存在をアナウンスするためにアクセス・ポイントが使用するビーコンも小さくします。このモードを使用すると、企業のワイヤレス LAN がオフィス・ビルの外にいるユーザからほとんどわからなくなります。

AutoCell アクセス・ポイントとクライアントの相互作用

AutoCell の自動構成マイクロ・セルによって、パフォーマンスが向上し、企業のプライバシー・レベルをさらに高めることができます。

- **自動送信出力制御:** AutoCell クライアントの RF 送信出力レベルは、AutoCell アクセス・ポイントで自動的に調整されます。これによりクライアント・マイクロセルが形成され、同じ周波数の他のクライアントやアクセス・ポイントとの干渉を減らし、全体のスループットとパフォーマンスが改善されます。(アクセス・ポイントで AutoCell が有効になっている必要があります)
- **自動ロード・バランシング:** AutoCell クライアントは最も負荷の少ない AutoCell アクセス・ポイントを探し接続します。(アクセス・ポイントで AutoCell が有効になっている必要があります)
- **高速ローミング:** AutoCell クライアントは、周囲の RF ドメインの瞬間的な変化、すなわち RF 異常と、通常の RF ドメインの変化を区別し、通常の RF ドメインの変化を正確かつ迅速に検出します。通常の変化を検出した場合、クライアントはデータ速度が低下するのを待たずに最も高速で伝送が可能なアクセス・ポイントを探します。(アクセス・ポイントで AutoCell が有効になっている必要はありません)

AutoCell View

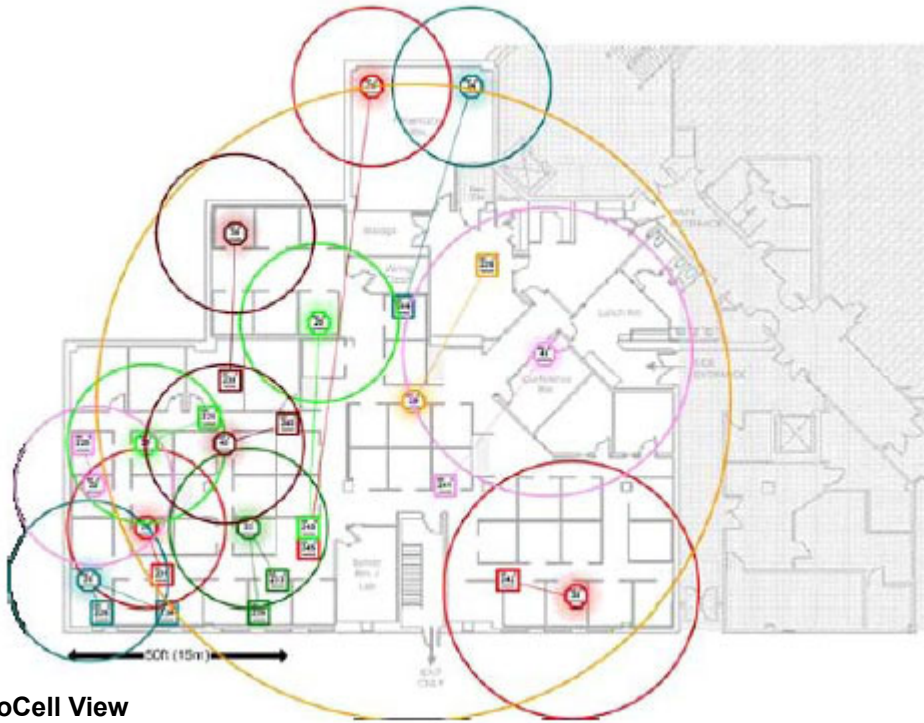


図 5-3: AutoCell View

AutoCell View は、ワイヤレス・ネットワークを洗練された図で表示し、ワイヤレス通信の管理を容易にするツールです。

ワイヤレス LAN パラメータの設定

通常、ワイヤレス LAN パラメータは変更する必要はありません。

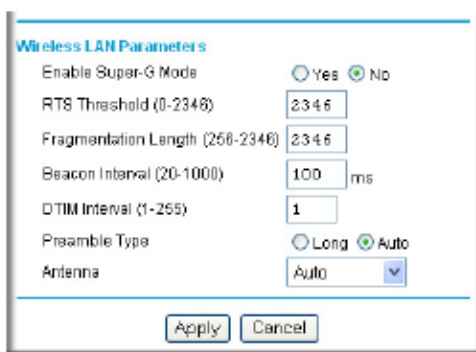


図 5-4: Advanced Wireless Settings (高度なワイヤレス設定) ページ—Wireless LAN Parameters (ワイヤレス LAN パラメータ)

以下の表で、ワイヤレス LAN パラメータについて説明します。

表 5-2: ワイヤレス LAN パラメータ

項目	説明
RTS Threshold (RTS 閾値)	パケット送信のために、CSMA/CD(搬送波感知多重アクセス/衝突検出)方式を使うか、CSMA/CA(搬送波感知多重アクセス/衝突回避)方式を使うかを決定するためのパケット・サイズ。
Fragmentation Length(フラグメンテーションの長さ)	断片化が行われる最大のパケット・サイズです。このフィールドの値より大きなサイズのパケットは分割されます。この値は、RTS Threshold の値より大きくなければなりません。
Beacon Interval (ビーコン間隔)	データ・ビーコンの間隔を指定します。
DTIM Interval (DTIM 間隔)	DTIM(Delivery Traffic Indication Message)の間隔を指定します。
Preamble Type(プリアンブルのタイプ)	長い送信プリアンブルでは、接続の信頼性が増し伝送距離がやや長くなります。短い送信プリアンブルでは、パフォーマンスが向上します。
Antenna(アンテナ)	データの送受信に適したアンテナを選択します。デフォルト設定は Auto(自動)です。

ブリッジとリピータの設定

NETGEAR ProSafe ワイヤレス・アクセス・ポイント 802.11g WG302 をブリッジ設定で使用すると、より大規模なワイヤレス・ネットワークを構築することができます。

Advanced Access Point Settings

Access Point Mode

Enable Wireless Bridging and Repeating

Wireless Point-to-Point Bridge

Enable Wireless Client Association

Remote MAC Address [][][][][][]

Wireless Point to Multi-Point Bridge

Enable Wireless Client Association

Remote MAC Address 1 [][][][][][]

Remote MAC Address 2 [][][][][][]

Remote MAC Address 3 [][][][][][]

Remote MAC Address 4 [][][][][][]

Repeater with Wireless Client Association

Remote MAC Address 1 [][][][][][]

Remote MAC Address 2 [][][][][][]

Remote MAC Address 3 [][][][][][]

Remote MAC Address 4 [][][][][][]

Apply Cancel

図 5-5: Advanced Access Point Settings (高度なアクセス・ポイント設定) ページ

ワイヤレス・ブリッジの設定には以下のものがあります。

- Wireless Point-to-Point Bridge (ポイント・ツー・ポイント・ブリッジ)
- Wireless Point to Multi-Point Bridge (ポイント・ツー・マルチ・ポイント・ブリッジ)
- Repeater with Wireless Client Association (リピータ、クライアント接続可)

これらの機能について、以下で説明します。

ポイント・ツー・ポイント・ブリッジの設定

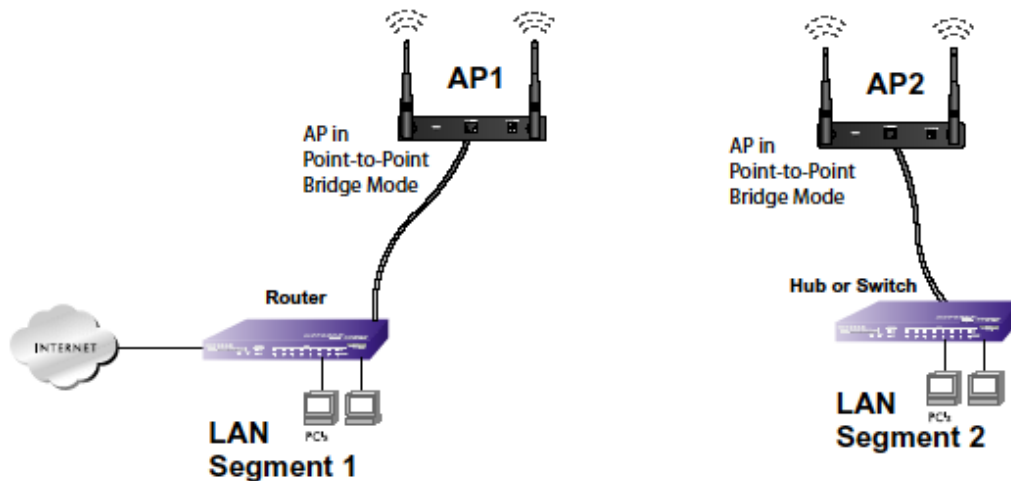


図 5-6:ポイント・ツー・ポイント・ブリッジ

1. LAN セグメント 1 にある WG302 (AP1) を Point-to-Point Bridge (ポイント・ツー・ポイント・ブリッジ) モードに設定します。
2. LAN セグメント 2 にある WG302 (AP2) を Point-to-Point Bridge (ポイント・ツー・ポイント・ブリッジ) モードに設定します。
AP1 の Remote MAC Address (リモート MAC アドレス) フィールドに AP2 の MAC アドレスを、AP2 の Remote MAC Address フィールドに AP1 の MAC アドレスを設定します。
3. 両方のアクセス・ポイントで以下のパラメータを設定し、確認します。
 - LAN 設定は、どちらの WG302 も同じネットワーク・アドレス範囲で設定します。
 - ワイヤレス設定は、どちらの WG302 も同じ SSID、チャンネル、認証モードを使用し、セキュリティを使用している場合は同じセキュリティ設定を使用してください。
4. LAN1 と LAN2 の接続を確認します。
 - どちらの LAN セグメントにあるコンピュータも、インターネット、LAN セグメント 1 および LAN セグメント 2 に接続されている他のコンピュータやサーバの共有ファイル、プリンタに接続できなければなりません。

マルチ・ポイント・ブリッジの設定

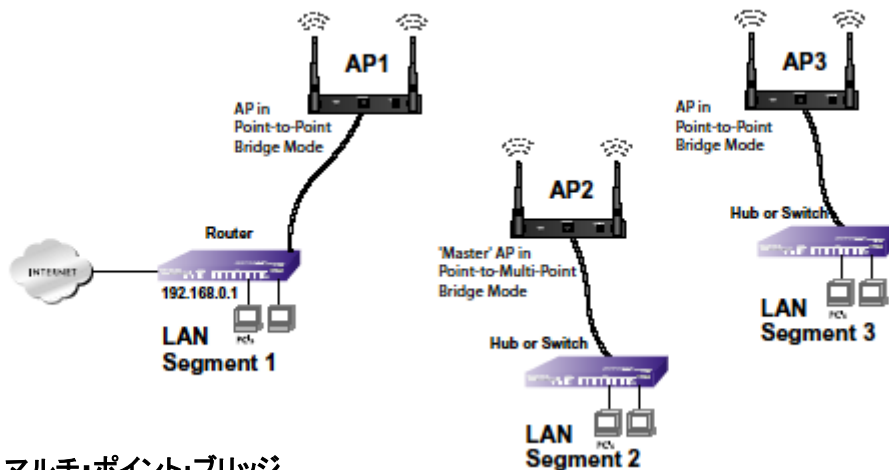


図 5-7: マルチ・ポイント・ブリッジ

1. WG302 アクセス・ポイントの動作モードを設定します。
 - LAN セグメント 1 の WG302 (AP1) を、AP2 の MAC アドレスで Point-to-Point Bridge (ポイント・ツー・ポイント・ブリッジ) モードに設定します。
 - 中央にある LAN セグメント 2 の WG302 (AP2) は、Point to Multi-Point Bridge (ポイント・ツー・マルチ・ポイント・ブリッジ) モードに設定します。また、AP2 では近接したアクセス・ポイント AP1 と AP3 の MAC アドレスを設定します。
 - LAN セグメント 3 の WG302 (AP3) を AP2 の MAC アドレスで Point-to-Point Bridge (ポイント・ツー・ポイント・ブリッジ) モードに設定します。
2. すべてのアクセス・ポイントで以下のパラメータになっていることを確認します。
 - WG302 アクセス・ポイントの LAN 設定は、同じネットワーク・アドレス範囲で設定されていることを確認します。
 - 1 台のアクセス・ポイントのみが Point to Multi-Point Bridge (ポイント・ツー・マルチ・ポイント・ブリッジ) モードに設定され、他はすべて Point-to-Point Bridge (ポイント・ツー・ポイント・ブリッジ) モードになっていることを確認します。
 - DHCP を使用する場合、すべての WG302 アクセス・ポイントで Basic Settings (基本設定) ページの DHCP Client を Enable (有効) にしてください。

- ワイヤレス設定は、すべての WG302 で同じ SSID、チャンネル、認証モードを使用し、セキュリティを使用している場合は同じセキュリティ設定を使用してください。
- すべての Point-to-Point (ポイント・ツー・ポイント) アクセス・ポイントの Remote MAC Address (リモート MAC アドレス) フィールドに AP2 の MAC アドレスを設定する必要があります。

3. LAN の接続を確認します。

- いずれの LAN セグメントにあるコンピュータも、インターネットに接続でき、LAN セグメントのいずれかに接続されている他のコンピュータまたはサーバのファイルやプリンタを共有できなければなりません。

メモ: Point-to-Point (ポイント・ツー・ポイント) モードに設定された WG302 は 4 台まで接続することができます。また、NETGEAR ワイヤレス・アンテナを利用すると、ワイヤレス・ネットワークのエリアを拡張することができます。

ワイヤレス・リピータの設定

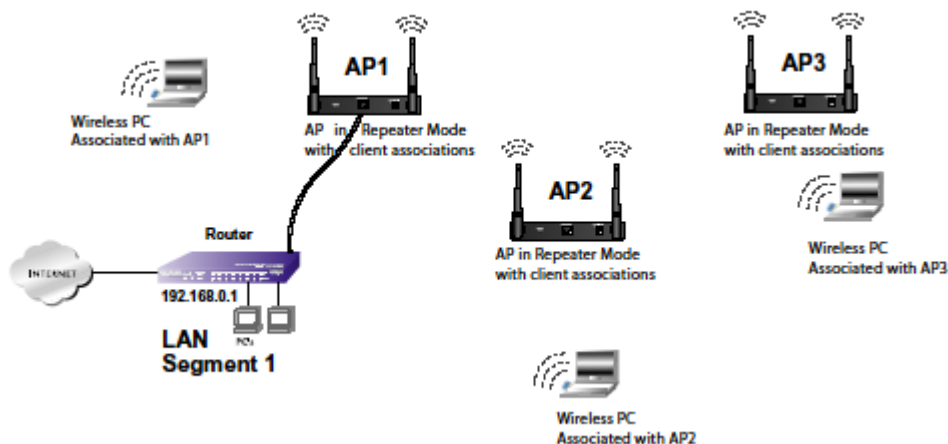


図 5-8: ワイヤレス・リピータ

1. WG302 アクセス・ポイントの動作モードを設定します。
 - LAN セグメント 1 にある WG302 (AP1) を、AP2 の MAC アドレスで Repeater (リピータ) モードにします。
 - WG302 (AP2) を AP1 と AP3 の MAC アドレスで Repeater モードに設定します。

- WG302 (AP3) を AP2 の MAC アドレスで Repeater モードに設定します。
2. すべてのアクセス・ポイントで以下のパラメータになっていることを確認します。
 - WG302 アクセス・ポイントの LAN 設定は、同じネットワーク・アドレス範囲で設定されていることを確認します。
 - DHCP を使用する場合、すべての WG302 アクセス・ポイントで Basic Settings (基本設定) ページの DHCP Client を Enable (有効) にしてください。
 - ワイヤレス設定は、すべての WG302 で同じ SSID、チャンネル、認証モードを使用し、セキュリティを使用している場合は同じセキュリティ設定を使用してください。
 3. LAN の接続を確認します。
 - いずれの LAN セグメントにあるコンピュータも、インターネットに接続でき、LAN セグメントのいずれかに接続されている他のコンピュータまたはサーバのファイルやプリンタを共有できなければなりません。

メモ: Repeater (リピータ) 設定の通信は半二重モードなので、ネットワークの帯域幅は減少します。NETGEAR ワイヤレス・アンテナを利用すると、ワイヤレス・ネットワークのエリアを拡張することができます。

第 6 章 トラブルシューティング

この章では NETGEAR ProSafe ワイヤレス・アクセス・ポイント 802.11g WG302 のトラブルシューティングについて説明します。何か問題がある場合は、これらの情報を参考に問題を解決してください。以下の一般的は問題については、それぞれのセクションを参照してください。

- WG302 の電源は入っていますか？
- アクセス・ポイントを正しく接続しましたか？
3-4 ページ“WG302 アクセス・ポイントのインストール”を参照してください。
- アクセス・ポイントの設定パスワードを忘れてしまった。
4-10 ページ“管理者パスワードの変更”を参照してください。

アクセス・ポイントの LED が点灯しない

アクセス・ポイントの電源を入れた後、しばらくして Power LED が点灯することを確認してください。

アクセス・ポイントの電源が入らない場合：

- 電源コードがアクセス・ポイントに接続されていることを確認してください。
- AC アダプタがコンセントに接続されていることを確認してください。AC アダプタがスイッチのついた OA タップに接続されている場合は、スイッチがオンになっていることを確認してください。
- アクセス・ポイントに付属する AC アダプタを使用していることを確認してください。

ワイヤレス LAN LED が点灯しない

アクセス・ポイントのアンテナが機能しない場合：

- ワイヤレス LAN LED が点灯しない場合は、AC アダプタを抜いてもう一度差し込んでください。
- アンテナが WG302 に確実に接続されていることを確認してください。

- それでもワイヤレス LAN LED が点灯しない場合は、NETGEAR テクニカル・サポートまでご連絡ください。

LAN LED が点灯しない

ハードウェアの接続に問題があります。以下の項目をチェックしてください。

- ケーブルのコネクタがアクセス・ポイントとネットワーク・デバイス(ハブ、スイッチ、ルータ)に確実に接続されていることを確認してください。
- 接続されたデバイスの電源が入っていることを確認してください。
- 正しいケーブルを使用していることを確認してください。標準のカテゴリ 5 Ethernet ケーブルを使用してください。

ワイヤレス・コンピュータからインターネットや LAN にアクセスできない

設定に問題があります。以下の項目をチェックしてください。

- ワイヤレス・コンピュータの TCP/IP 設定の変更が有効でないかもしれません。コンピュータを再起動してみてください。
- ワイヤレス・コンピュータの TCP/IP 設定に誤りがないかどうかを確認してください。通常、Windows の設定は IP アドレスを自動的に取得するようになっています。
- アクセス・ポイントのデフォルト値が、使用するネットワークに合っていないことがあります。ネットワークの他のデバイスの設定とアクセス・ポイントのデフォルト設定をチェックしてください。

設定を行うために WG302 に接続できない

以下の項目をチェックしてください。

- WG302 が正しくインストールされ、LAN 接続に問題がなく、電源がオンになっていることを確認してください。LAN LED が緑または黄色で点灯し、Ethernet 接続に問題がないことを確認してください。
- WG302 のデフォルト設定は、IP アドレス 192.168.0.228、サブネット・マスク 255.255.255.0、また

DHCPは無効になっています。ネットワーク設定が正しいことを確認してください。

- 接続するためにWG302のNetBIOS名を使用している場合は、コンピュータとWG302が同じネットワーク・セグメントにあること、またはネットワークにWINSサーバがあることを確認してください。
- コンピュータがIPアドレスを自動的に取得する(DHCPクライアント)設定の場合は、コンピュータを再起動してください。
- コンピュータが固定(静的)IPアドレスを使用している場合は、WG302と同じネットワークのIPアドレスを使用していることを確認してください。WG302のデフォルト設定は、IPアドレス192.168.0.228、サブネット・マスク255.255.255.0です。これらの設定がわからない場合は、[3-4 ページ“WG302 アクセス・ポイントのインストール”](#)を参照してください。

URL または IP アドレスを入力するとタイムアウト・エラーになる

いくつかの原因が考えられます。以下の項目をチェックしてください。

- 他のコンピュータが動作しているかどうかをチェックしてください。他のコンピュータが動作している場合は、お使いのコンピュータのTCP/IP設定が正しいことを確認してください。固定(静的)IPアドレスを使用している場合は、サブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイ、DNS、およびIPアドレスをチェックしてください。
- コンピュータが正しく設定されているのに動作しない場合は、WG302が接続されて、電源が入っていることを確認してください。WG302の設定を確認してください。接続できない場合は、LANと電源の接続をチェックしてください。
- WG302が正しく設定されている場合は、インターネット接続(DSL/ケーブル・モデムなど)が正常に動作していることを確認してください。

工場出荷時のデフォルト設定に戻すためにReset(リセット)ボタンを使用する

Reset(リセット)ボタン([2-9 ページ“WG302 の後部パネル”](#)を参照)には2つの機能があります。

- リブート — このボタンを押してすぐに離すとWG302がリブート(再起動)します。
- 工場出荷時のデフォルト設定へのリセット — すべてのデータを消去して、設定を工場出荷時のデフォルト値に戻すことができます。

すべてのデータを消去し、工場出荷時のデフォルト値に戻すには:

1. WG302 の電源をオフにして、再びオンにします。
2. ペンなどの先の尖ったものを使用して、Reset (リセット) ボタンを 5 秒以上押し続けます。
3. Reset (リセット) ボタンを離します。

これで WG302 は工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。